

C-QUAM(モトローラ)方式に対応した

AMステレオ信号復調器

VP-9053A

- C-QUAM(モトローラ)方式
- 400Hz、1kHzひずみ率計内蔵
- 測定周波数8点スポット



概要

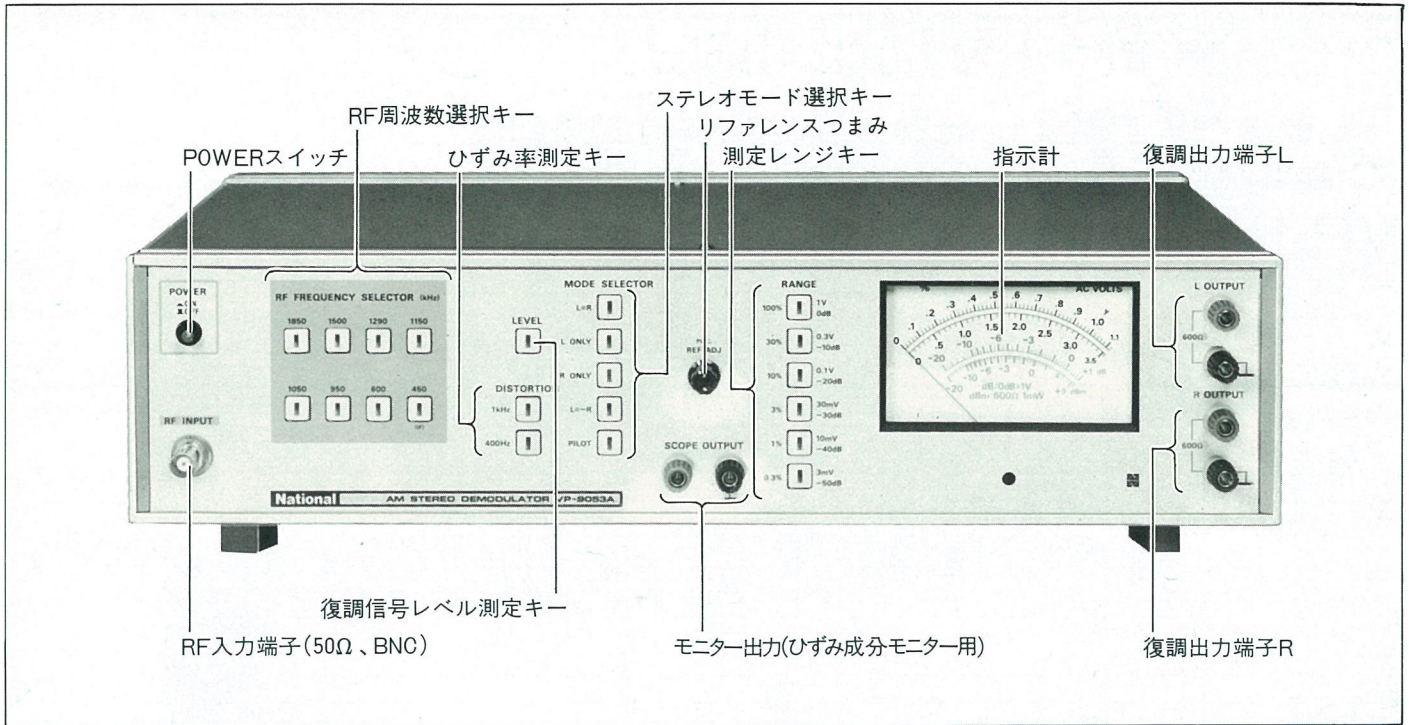
本器は、モトローラC-QUAM方式のAMステレオ信号の復調器で、IF周波数450kHz、RF周波数8点スポットを有し、ステレオ信号の変調特性評価として、変調度ひずみ率、S/N、ステレオ分離度測定機能を備えています。

当社のAMステレオ信号発生器VP-8253A(4方式)、VP-8254A(C-QUAM方式)の校正器としてご使用頂けます。

特長

- モトローラC-QUAM方式
米国AMステレオ放送方式のうち、モトローラC-QUAM方式を搭載。当社のAMステレオ信号発生器VP-8253A(4方式)、VP-8254A(モトローラ方式)を校正することができます。
- RF8点スポット
測定周波数はIF周波数450kHzを始め、600、950、1,050、1,150、1,290、1,500、1,850kHzの8点を内蔵。
- 復調出力装備
AMステレオ復調出力端子L、Rを装備。外部機器に接続して各種の測定が可能です。
- モニター出力装備
ひずみ率測定でのひずみ成分の信号出力を装備。
- 各種測定機能
復調機能の他に内蔵のレベル計を用い、ひずみ率やステレオ分離度などを測定することができます。
 1. 変調度
各ステレオモード(L=R、L=-R、L、R)とパイロットの変調度を測定。L=R、L=-Rが100%まで、L、Rが80%まで、パイロットが10%(フルスケール)まで測定できます。
 2. ひずみ率
各ステレオモードのひずみ率を測定。400Hz、1kHzの2点スポットで0.2%以下(L=R)の測定が可能です。
 3. S/N
AM成分(L=R)とPM成分(L=-R)の残留変調(S/N)が測定できます。
L=R \geq 65dB、L=-R \geq 54dBの性能を有します。
 4. ステレオ分離度
ステレオ変調の分離度(L \rightarrow R、R \rightarrow L)30dB以上の測定性能を有します。

各部の名称



仕様

入 力 部		残 留 変 調	電 源
周 波 数	450kHz、 600kHz 950kHz、 1,050kHz 1,150kHz、 1,290kHz 1,500kHz、 1,850kHz		
入力レベル範囲	120dB \pm 3dB		
入力インピーダンス	50 Ω		
復 調 部		付 属 品	
AMステレオ方式	モトローラ方式	電 圧 ・ 周 波 数	100V(90V~112V) 50/60Hz
変調度測定範囲	L=R、L=-R 100% L only、R only 80% パイロット 10%	消 費 電 力	15VA以下
変調度指示確度	フルスケールの $\pm 10\%$	大 き さ	W426 \times H99 \times D350mm
復調出力周波数特性	$\leq \pm 1$ dB(50Hz~10kHz)	質 量	約7kg
ひずみ率	変調周波数1kHzで50%変調で L=R $\leq 0.2\%$ L=-R $\leq 0.5\%$ L only、R only $\leq 0.5\%$	電源コード接地アダプタ	1
		予 備 ヒ ュ ー ズ	1
		取 扱 説 明 書	1

●本カタログ記載の仕様、デザイン、大きさなどは規格改善のため予告なく変更させていただくことがあります。

●お問い合わせは……



松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 電子計測事業部
〒223 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号
電話(045)531-1231(代表)